

2020 春

社会医療法人社団 尚篤会

赤心堂グループ

せしん

がん対策と内視鏡



赤心堂病院
外科診療部長・
内視鏡室副部長

桂田 純二郎

1 がん対策について

我が国において、がんは、1981（昭和56）年より死因の第1位で、2015年には年間約37万人が亡くなり、生涯のうちに約2人に1人が罹患すると推計されております。1984年に策定された「対がん10カ年

総合戦略」以降、10年毎にがん対策戦略が策定され、がん対策が行われています。

2006年6月には、がん対策の一層の充実を図るため、がん対策基本法が成立しました。がん対策基本計画では、「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんの克服を目指す」ことを目標とされ、がんの1次予防と2次予防もいわれております。

がんの1次予防としては、喫煙（受動喫煙を含む）、過剰飲酒、低身体活動、肥満・やせ、野菜・果物不足、塩蔵食品の過剰摂取などの生活習慣、ウイルスや細菌の感染などがあり、胃がんにおいては、ヘリコバクター・ピロリ菌の感染がリスクであるといわれています。

また、がんの2次予防での早期発見及びがん検診がいられております。

2 川越市胃がん個別内視鏡検診

胃がん検診に対しては、これまで胃X線検診が主に行われてきましたが、胃内視鏡検診の有効性が評価されたことによって、2016年に対策型胃がん個別検診に内視鏡検診が加えられることになりました。

胃がん



ピロリ菌

これに基づき、2018（平成30）年6月より川越市でも胃がん個別内視鏡検診が開始され、平成30年度の受診者は2243名で、がんが見つかった方は7名であったと報告されております。しかし、

平成30年度の川越市胃がん検診の受診率は8・7%と低く、これは全国的にもいわれており、受診率の上昇が課題となっております。皆さまが受診しやすく、また辛くない検査が受けられることが望まれ、それが受診率の上昇にもつながると思っております。

苦痛を少なく、できるだけ楽に胃内視鏡検査が受けられるようにと開発されたのが経鼻内視鏡検査です。

3 経鼻内視鏡検査について

本邦において、内視鏡検査は、1950（昭和25）年にガストロカメラとして発表されて以来、医療機器や技術の発達により応用範囲も広がり、診断から治療までスムーズに行われるようになってきました。胃内視鏡検査は、口から入る経口内視鏡（以下、経口）と鼻から入る経鼻内視鏡（以下、経鼻）があります。

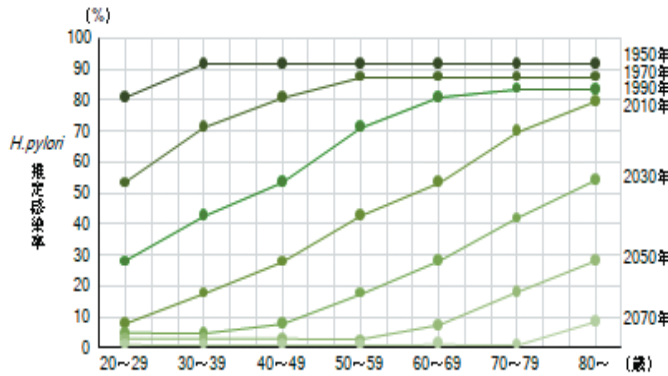


口から入る経口では舌の付け根を通過するの
で、オエーっといった咽
頭反射が起こりやすくな
りますが、鼻から入る経
鼻では舌の付け根をこす
らずに入り咽頭反射が軽
減されます。日本消化器
内視鏡学会の統計による
と、経口と経鼻の苦痛の差は理学的所見にもあら
われており、経口では心拍数や血圧や酸素消費量
などの増加はありますが、経鼻ではほとんど変化
なく、経鼻は経口よりも心臓や肺への負担が少な
いとされております。実際に当院では多くの方が
経鼻内視鏡を希望されるようになり、経鼻内視鏡
件数はここ10年で2倍に増加しております。

4 ヘリコバクター・ピロリ菌について

がん対策の中で、ヘリコバクター・ピロリ菌感
染の胃がんのリスクについて述べられておりま
す。ピロリ菌は、最近では広く知られるようにな
り、検査や除菌された方も多いのではないでしよ
うか。1983年に発見され、2013年から本
邦ではヘリコバクター・ピロリ感染胃炎への保険
適応が拡大され、多くの方が除菌できるようにな
りました。2014年からWHO（世界保健機関）
の下部機関であるIARC（国際がん研究機関）
が、胃がん予防としてヘリコバクター・ピロリ除
菌による対策を推奨しました。

グラフ1 日本人におけるH.pylori推定感染率の推移

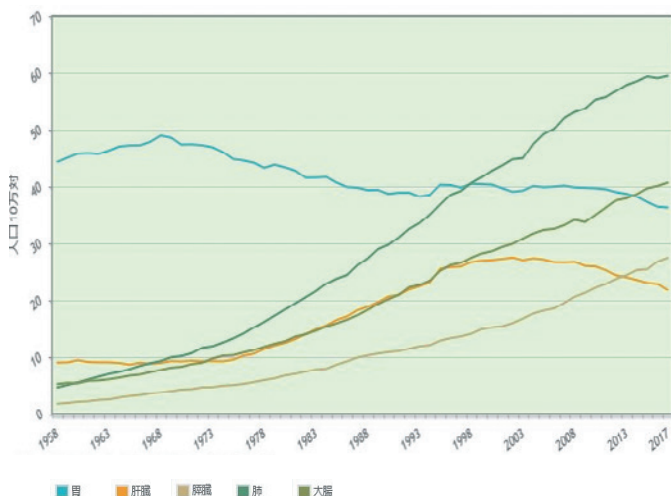


対象・方法：1990年、2000年、2010年のH.pylori 感染率と推定感染率をもとに、1950～2070年までの
H.pylori 感染率の推定値を年代ごとに算出した。

参考文献：Helicobacter Res. 19(5), 439-444, 2015
加藤元朗ほか：日本内科学会雑誌 106(1), 10-15, 2017

ピロリ菌について、2012年秋の本誌にも掲
載させていただきましたが、当時は保険適応に限
られ受診者はそれほど多くありませんでした。
2013年の保険適応拡大後より受診者が増加
し、これまでに1500名を超える方が当院へ受
診されました。
グラフ1は、1950～2070年までのピロ
リ菌感染率の推定値を年代ごとに算出したデー
タです。今後、ピロリ菌感染率はさらに低下して
、将来的にはピロリ菌感染者はかなり少数になるこ
とが予測されております。上下水道が整ったこと
などによる本邦の衛生環境の改善が寄与してい
ると思われま

グラフ2 部位別 死亡率 年次推移(男女計、全年齢)



資料：国立がん研究センターがん対策情報センター「がん登録・統計」
Source: Cancer Information Services, National Cancer Center, Japan

が国におけるピロリ菌感染者の未感染者に比べた
胃がんリスクは、15倍以上とされておりま

すが、2014年の国立がん研究センターの
データでは、胃がんの罹患率は臓器別にみると男
性で1位、女性では3位とまだまだ多く、除菌に
よる胃がん予防が推奨されます。

当院ホームページのヘリコバクター・ピロリ菌
外来のページ (http://www.sekishindo.or.jp/depart-ment/surgery/helicobacter_pylori.html) にピロリ
菌について掲載しておりますので、ぜひご覧くだ
さい。ピロリ菌についてご相談や診療をご希望の
方は、月曜～土曜日の午前中の外科外来へ受診し
てください。

5 当院の内視鏡室について

当院の内視鏡室は、以前は当院の地下にありましたが、2001（平成13）年に赤心クリニックが開設されてから、現在の赤心クリニック3階に移設されました。内視鏡検査室は2室あり、上下部内視鏡検査および治療を行っております。拡大内視鏡観察やNBI（Narrow Band Imaging・狭帯域光法）観察による早期がんの診断や内視鏡検査中のガス貯留による苦痛を軽減する内視鏡用炭酸ガス送気装置なども導入しております。小腸や大腸のカプセル内視鏡システムも配備しており検査可能です。胆膵内視鏡検査であるERCPや消化管ステント留置術などは病院にある透視室で内視鏡を使用して行っております。

内視鏡室のスタッフ（2019年12月現在）は、常勤医師3名（指導医2名、専門医1名）、非常勤医師5名、内視鏡看護師5名（内視鏡技師2名）、助手1名で、胃内視鏡検査は年間約3000件、大腸内視鏡検査は年間約1500件行っております。内視鏡スコープの細径化で以前より検査を受けやすくなったことや胃がん検診での内視鏡の需要の増加などで、内視鏡検査数は増加してきております。

2020年には、赤心堂総合健診クリニックが場所をかね新設され、同クリニック内に内視鏡室が2室開設されます。これからの当院の内視鏡診療は、赤心クリニックと赤心堂総合健診クリニックの両内視鏡室へと規模を拡大し、皆さまのお役に立てるよう地域医療に取り組んでまいります。

2020
年度

赤心堂総合健診クリニック 赤心活き粋健康講座

健康の
3本柱は

「食事」「運動」
「健康診断」

日時	テーマ
6月27日(土) 14:00～	健康診断の大切さ ●健診クリニック所長 矢内充
7月18日(土) 14:00～	ようこそ検査の世界へ ●健診クリニック スタッフ
9月26日(土) 14:00～	体内時計について ●健診クリニック生活リズムアドバイザー 石井友基
10月24日(土) 14:00～	笑顔でいきいき！体操教室 ●健康運動指導士 近藤由加
11月28日(土) 14:00～	目指せ！健“口”長寿 ●歯科医師 金子貞男・金子哲也

会場：赤心堂総合健診クリニック ※予約不要・参加費無料
※都合によりテーマや講師が変更する場合があります。

赤心堂病院 糖尿病教室

日時	テーマ
5月16日(土) 14:00～	糖尿病と老化 ●内科医師 村磯知重 糖尿病における運動療法 ●理学療法士 秋山祥汰 糖尿病検査ってどんなものがあるの？ ●臨床検査技師 丸山美和
12月19日(土) 14:00～	知っておきたい糖尿病のお薬 ●日本糖尿病療養指導士 薬剤師 渡邊絵美 気をつけよう！年末年始の食生活 ●日本糖尿病療養指導士 管理栄養士 小倉沙織 災害時に備えておきたいこと ●日本糖尿病療養指導士 看護師 金子正美 腎臓を大切に！透析の基礎知識 ●透析看護認定看護師 平田麻須美

会場：赤心クリニック4階会議室 ※予約不要・参加費無料

どなたでもお気軽にご参加ください



赤心堂
総合健診クリニック 所長
矢内 充

赤心堂総合健診クリニックでは、本年5月に専用施設への移動を機に、新たに内視鏡室を設置いたします。これにより、これまで赤心クリニックに移動していただいていた人間ドックの胃内視鏡検査を、同一の場所で健診着を着替えるこ

となくお受けいただけるとともに、より多くの皆様に検査を実施させていただきます。
新しい内視鏡室では、レーザー光源搭載の内視鏡システムを導入し、高画質による胃内の観察が可能になります。胃がん検診における胃X線検査（バリウムによる胃透視）の重要性は今まで通り変わることはありませんが、人間ドック受検の際には、より詳細な観察が可能な胃内視鏡検査の実施をご検討ください。

赤心堂総合健診クリニックでも
胃内視鏡検査がはじまります

2020年5月

赤心堂の人間ドックが 新しくなります

赤心堂総合健診クリニックは開設31年を迎え
少し場所を移して生まれ変わります

New!!

64列マルチスライスCTによる
肺がん検診を開始します

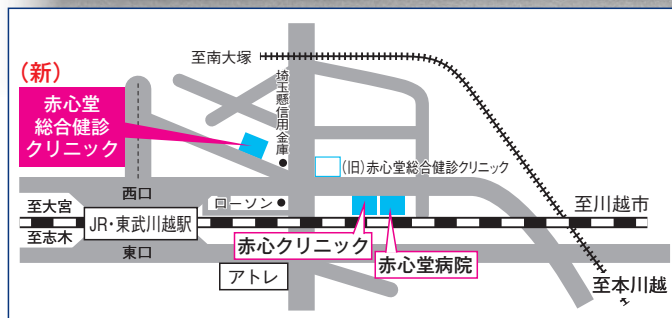
New!!

最新鋭のデジタル超音波診断装置を新たに1台
増強し、3台体制で幅広い検査を実施します

New!!

施設内で内視鏡検査を開始
全て検査が施設内で行えます

皆様のご希望に沿えるよう、
オプション検査を充実させ
るとともに、健診当日の医師
による結果説明・面接、保健
師による生活習慣改善指導
は、今まで以上に丁寧に行っ
てまいります。



社会医療法人 社団 尚篤会

赤心堂 総合健診クリニック

〒350-1123 埼玉県川越市協田本町21-1

URL: <http://www.sekishindo.or.jp/kenshin>

電話: 049-243-5550

ご予約は、ホームページからも受け付けております





社会医療法人社団 尚篤会

赤心(まごころ)の気持ちで
地域に根ざした医療を提供します



《 病院理念 》

- 1 私達は赤心(まごころ)の気持ちで患者様に接し、常に患者様の立場を尊重することに努めます
- 2 私達は新たな医学知識と医療技術を習得し、地域の方々の健康と福祉の増進に努めます
- 3 私達は患者様の知る権利を尊重し、お互いの信頼に基づいて納得していただける医療の提供に努めます
- 4 私達は地域において、他の関連機関と連携して効果的な医療の実現に努めます

赤心堂病院

日本医療機能評価機構認定施設・二次救急病院



住所：川越市脇田本町25-19

TEL：049-242-1181

●診療科目

内科・外科・整形外科・産科・婦人科・泌尿器科
消化器科・循環器科・呼吸器科・脳神経外科・小児科
皮膚科・形成外科・麻酔科・放射線科・リハビリテーション科
消化器外科・肛門外科・乳腺外科・内視鏡外科・リウマチ科



当院は多様な働き方実践企業最高ランク
プラチナプラスに認定されています

赤心クリニック



住所：川越市脇田本町25-18

TEL：049-242-8601

●診療科目

循環器科・泌尿器科／人工透析室

上福岡腎クリニック



住所：ふじみ野市霞ヶ丘1-2-27

ココネ上福岡クリニックモール2F

TEL：049-261-2300

●診療科目

人工透析専門施設

赤心堂総合健診クリニック



住所：川越市脇田本町23-1

移転後 川越市脇田本町21-1

TEL：049-243-5550 (電話番号は変わりません)

●健診専門施設

日本総合健診医学会優良総合健診施設認定／健康保険
連合会指定病院・各共済組合・各健康保険組合指定

2020年
5月移転

患者さんのために一緒に働く方を募集しております

赤心堂グループ

ホームページアドレス <http://www.sekishindo.or.jp>